

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ジュンテンドー京丹波店	階数	地上1F
建設地	京都府船井郡京丹波町蒲生蒲生野	構造	S造
用途地域	丹波都市計画区域内非線引き区域	平均居住人員	0人
地域区分		年間使用時間	4,368時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	
竣工年	2023年3月	評価の実施日	2022年7月14日
敷地面積	8,159㎡	作成者	金藤郁雄
建築面積	3,791㎡	確認日	2022年7月25日
延床面積	3,791㎡	確認者	金藤郁雄

外観パース等

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B': ★★ C: ★</p>	<p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値: 100%</p> <p>②建築物の取組み: 69%</p> <p>③上記+②以外の: 69%</p> <p>④上記+: 69%</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.6**

<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.4</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.2</p>
------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------------

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.7**

<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p>
---------------------------------------	------------------------------------------	---------------------------------------

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物の高さは出来るだけ低くし、また南側道路より建物を退げて配置することにより、周りの環境や交通の妨げにならないように計画した。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料(告示対象外の建材およびJIS・JAS規格のF☆☆☆☆)をほぼ全般的(床・壁・天井・天井裏の面積の合計の90%以上の面積)に採用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>売場の天井高4.5mあり、また維持管理に配慮した設計において、取り組みにおいて該当する項目数が6項目ある。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>換気設備の重要度に応じて系統を区分し、災害時には重要度の高い系統を優先的に運転するほか、負荷容量を下げた運転も可能となるよう検討している。また地震時の部分的被害が全体機能の停止を引き起こさないよう</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>モデル建物法[BEIm]での評価が0.7以下である。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>自動水性などに加えて、省水型機器(例えば暖音、節水型便器など)などを用いている。また建物は鉄骨造とし、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっており、内装材と設備が連続せず、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれを取り外すことができる。また化学物質排出把握管理促進</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>建物利用者のための適切な量の自転車置場の確保、駐輪場利用者の利便性への配慮をしている。また駐車場はお客様用として、適切な量の駐車スペースの確保し、管理用車両や荷捌き用車両の駐車施設も別に確保している。駐車場の導入路(出入り口など)の位置や形状・数への</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される